令和７（２０２５）年度

環境経営レポート

対象期間：２０２５年４月１日～２０２６年３月３１日

発行日　２０２６年７月３１日

足利市清掃事業株式会社

目次

１．　登録範囲、組織の概要

２．　環境経営方針（基本理念・基本方針・環境目標）

３．　環境経営計画・活動内容

４．　実績・取組結果とその評価

５．　次年度の環境経営目標及び環境経営計画

６．　環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

７．　代表者による全体の評価と見直し・指示

１．　登録範囲、組織の概要

１－１　登録範囲　　全組織・全活動

１－２　組織の概要

（１）　事業所名：足利市清掃事業株式会社

（２）　所在地：栃木県足利市久保田町９１１番地

（３）　代表者：代表取締役　今泉和也

（４）　事業内容（登録範囲）：一般廃棄物収集運搬業

産業廃棄物収集運搬業

特別管理産業廃棄物収集運搬業

一般廃棄物・産業廃棄物の中間処理業

古物商

（５）　設立年月日：１９７２年６月１日

（６）　資本金：２，０００万円

（７）　売上高：２０２５年度（2025/４/1日～2026/3/31）　10億2538万円

（８）　従業員数：８５名

（９） 処理実績

① 産業廃棄物

（ｉ）収集運搬

廃棄物の種類	単位	収集運搬量
燃え殻	t	1.92
汚泥	t	141.28
廃油	t	96.78
廃酸	t	0.12
廃アルカリ	t	0.10
廃プラスチック類	t	874.28
紙くず	t	4.05
木くず	t	274.87
繊維くず	t	3.27
動植物性残さ	t	46.59
金属くず	t	94.25
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	t	135.79
がれき類	t	87.17
引火性廃油	t	0.05
合　計	t	1760.52

（ⅱ）中間処理

	廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量
中間処理	廃プラスチック類	破砕	t	1,225.22
	紙くず	焼却	t	19.50
	木くず	破砕	t	1,534.31
	木くず	焼却	t	0.06
	繊維くず	焼却	t	11.47
	金属くず	破砕	t	114.47
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕	t	440.47
	がれき類	破砕	t	692.22
うち再資源化等	廃プラスチック類	破砕	t	10.36
	木くず	破砕	t	225.15
	金属くず	破砕	t	114.47
	がれき類	破砕	t	480.01

	小　計	t	829.99
合　計		t	4037.25

（ⅲ）中間処理後の産業廃棄物（最終処分・中間処理・再資源化等）

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量等
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	燃え殻	管理型最終処分（委託）	t	11.53
		廃プラスチック類	安定型最終処分（委託）	t	886.19
		ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	安定型最終処分（委託）	t	196.18
		ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	管理型最終処分（委託）	t	155.18
		がれき類	安定型最終処分（委託）	t	212.21
		小　計		t	1461.29
	中間処理（再資源化等）	廃プラスチック類	破砕（発電燃料）	t	328.67
		木くず	破砕（発電燃料）	t	1,309.16
		ｶﾞﾗｽくず、ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず	破砕（再生石膏）	t	88.64
		小　計		t	1,726.47
	合　計			t	3,187.76

② 一般廃棄物

（ｉ） 収集運搬

廃棄物の種類		単位	収集運搬量
事業系	可燃ごみ	t	7,785.02
	不燃ごみ	t	334.73
	資源ごみ（ダンボール　　）	t	1,100.91
	資源ごみ（ミックスペーパー）	t	161.09
合　計		t	9,381.75
家庭系	可燃ごみ	t	17,486.5
	不燃ごみ	t	580.15
	資源ごみ（　　）	t	2,116.47
合　計		t	20,183.12
し尿・汚泥		t	0.00

（ii）中間処理

		廃棄物の種類	処理方法等	単位	処理量・処分量
中間処理		可燃ごみ			
		不燃ごみ			
		資源ごみ（　　）			
		資源ごみ（　　）			
		その他：生木・枝・葉	破砕	t	493.77
		その他：			
	うち再資源化等	資源ごみ（　　）			
	うち再資源化等	木質バイオマス	発電燃料	t	493.77
	うち再資源化等				
	うち再資源化等				
	小計				493.77
合計					493.77
中間処理後の最終処分					
合計					0.00

③　再資源の回収・収集等

再生資源の種類	単位	回収・収集等運搬量
ペットボトルフレーク	t	40.72
アルミプレス品	t	9.93
スチールプレス品	t	5.76
その他：		
その他：		

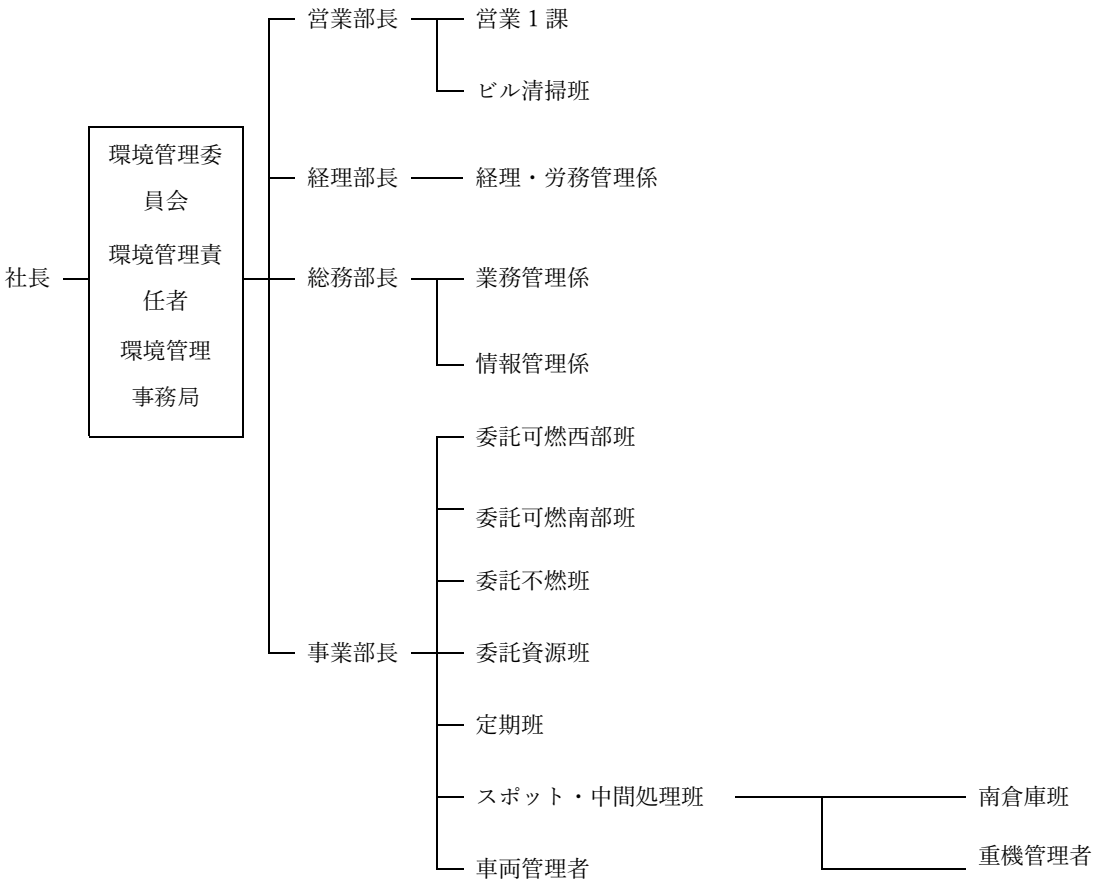
保有車両台数　　※2026 年 6 月 30 日現在

車種	台数
３ｔパッカー車	16
４ｔパッカー車	16
5.5ｔパッカー車	2
４ｔアームロール	4
８ｔアームロール	1
１１ｔアームロール車	2
３ｔユニック車	3
２ｔダンプ車	5
軽ダンプ車	1
２ｔ平ボディ車	9
３ｔ平ボディ車	5
４ｔ平ボディ車	1
８ｔ平ボディ車	2
軽冷蔵冷凍車	1
４ｔバキューム車	1
営業車	6
合計	75

（１１）　産業廃棄物中間処理施設

施設	処理能力	
①　破砕施設　２基	ゴムくず、金属くず、ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず	72.00ｔ/日
	がれき類	24.00ｔ/日
②　破砕施設	木くず	3.92ｔ/日
③　破砕施設	廃プラスチック類	4.448ｔ/日
④　焼却施設	紙くず	0.24ｔ/日
	木くず	1.04ｔ/日
	繊維くず	0.16ｔ/日

（１２）環境経営組織図



役割	責任権限
社長	・環境経営方針を定め、宣言する。 ・環境経営に取り組むための実施体制を構築する。 ・環境経営システムの取組状況を評価し、必要な指示を行う。 ・環境経営システム構築、運営、維持に必要な資源を提供する。
環境管理責任者	・環境経営システムを統括し、維持・運営を行う。 ・社長に取組状況を報告し、社長の指示を実行する。 ・環境関連法規の最新情報を管理し、法令、要求事項を順守する。
環境管理事務局	・環境管理責任者の指示に従い、環境負荷データー等を管理する。
部門責任者	・部門の環境目標を達成させる為、活動を推進する。 ・部門内の情報伝達や、環境管理責任者への実施結果報告を行う。

（１３）事業の概要

④ 一般廃棄物収集運搬

市町村	許可番号	許可年月日	有効期限
足利市	足利市指令生ク第４７号	令和７年６月１日	令和９年５月31日
佐野市	佐野市指令環政第５１号	令和７年７月１日	令和９年６月30日
小山市	小山市指令環第１－６号	令和８年４月１日	令和10年３月31日
太田市	39	令和７年10月１日	令和９年９月30日
館林市	館林市許可第８８８号	令和６年10月１日	令和８年９月30日
大泉町	第７－１３号	令和７年７月４日	令和９年７月３日
邑楽町	邑楽町許可第１３号	令和７年７月１日	令和９年６月30日
千代田町	千代田町許可第７－19号	令和８年２月16日	令和10年２月15日

⑤ 産業廃棄物収集運搬

県名	許可番号	許可年月日	有効期限
栃木県	００９１０００１２６１	令和３年10月10日	令和10年10月９日
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類 積替保管：・汚泥　保管面積　6.00㎡、保管容量　4.000㎥ ・廃油　保管面積　6.00㎡、保管容量　0.980㎥ ・廃プラスチック類　保管面積 24.00㎡、保管容量 25.400㎥ ・紙くず　保管面積　6.50㎡、保管容量　9.100㎥ ・動植物性残さ　保管面積　6.00㎡、保管容量　4.000㎥			
群馬県	０１０００００１２６１	令和４年７月３日	令和９年７月２日
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ・がれき類			
埼玉県	０１１０４００１２６１	令和６年８月16日	令和１１年７月８日
・燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず ・動植物性残さ・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類			
茨城県	００８０１００１２６１	令和５年５月15日	令和10年３月27日
・汚泥・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・金属くず ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類			

千葉県	０１２０００１２６１	令和 7 年 12 月 25 日	令和 12 年 12 月 12 日
・廃プラスチック類・木くず・ゴムくず・金属くず・ ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類			

⑥ 特別管理産業廃棄物収集運搬

県名	許可番号	許可年月日	有効期限
栃木県	００９５０００１２６１	令和 3 年 10 月 10 日	令和 10 年 10 月 9 日
・感染性産業廃棄物 ・廃油　　（揮発性、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン） ・廃酸　　（腐食性） ・廃ｱﾙｶﾘ　（腐食性）			
群馬県	０１０５０００１２６１	令和 7 年 12 月 10 日	令和 12 年 12 月 9 日
・感染性産業廃棄物 ・廃油　　（揮発性）			

産業廃棄物収集運搬許可車両台数 （単位：台）

	栃木県	群馬県	埼玉県	茨城県	千葉県
11ｔアームロール車	2	2	2		1
8ｔアームロール車	1	1	1	1	1
4ｔアームロール車	4	4	4	1	
4ｔパッカー車	7	6	2	1	
3ｔユニック車	3	3	3	1	1
2ｔダンプ車	5	5	2	1	
軽ダンプ車	1	1			
2ｔ平ボディー車	1	1	1	1	
3ｔ平ボディー車	5	5	3		
4ｔ平ボディー車	1	1	1	1	
8ｔ平ボディー車	2	2	2		1
冷蔵冷凍車	1				
4ｔバキューム車	1	1			

⑦ 産業廃棄物処分

事業の範囲：中間処理（破砕・焼却）

県名	許可番号	許可年月日	有効期限
栃木県	００９２０００１２６１	令和３年８月５日	令和 10 年８月４日

破砕に係るもの

・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず　処理能力 72.0 t /日

・がれき類　処理能力　24.0 t /日

・木くず　処理能力　3.92 t /日

・廃プラスチック類　処理能力　4.448 t /日

焼却に係るもの

・紙くず　処理能力　0.24 t /日

・木くず　処理能力　1.04 t /日

・繊維くず　処理能力　0.16 t /日

⑧ 一般廃棄物処分

事業の範囲：中間処理（破砕・焼却）

市町村	許可番号	許可年月日	有効期限
足利市	足利市指令生ク第 177 号	令和８年２月 24 日	令和 10 年２月 23 日

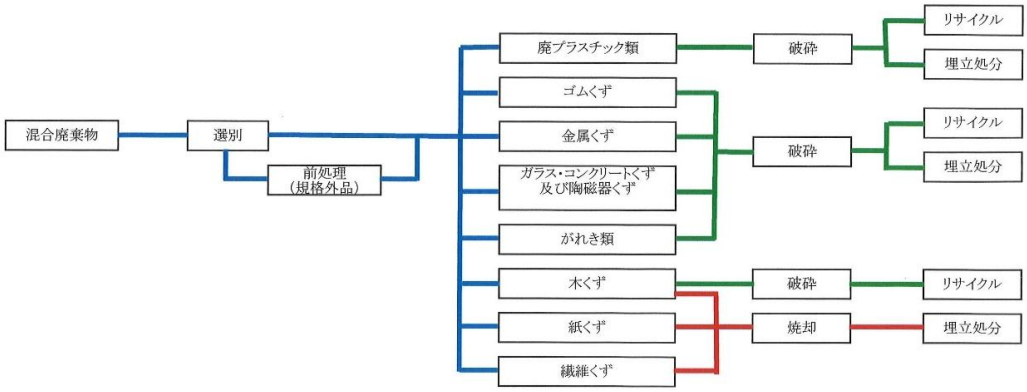
破砕に係るもの

・廃プラスチック類（1.2 t /日以下）、木くず（2.0 t /日以下）

焼却に係るもの

・紙くず（0.16 t /日以下）・木くず（0.56 t /日以下）・繊維くず（0.08 t /日以下）

⑨ 産業廃棄物中間処理フロー図



環境経営方針

基本理念

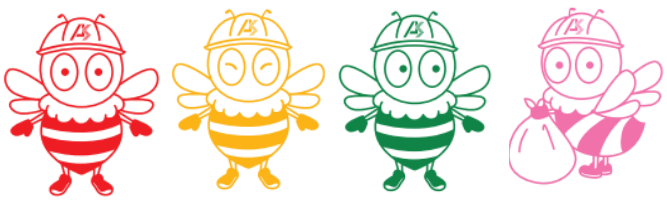
足利市清掃事業株式会社は、足利市を中心とする地域の皆様と共に
廃棄物の適正処理、生活環境の保全に取り組み、持続可能な循環型
社会を形成する事により、地元社会に貢献する事を目指しています。

基本方針

環境経営システムの継続的改善を図ります。
汚染の予防及び持続可能な資源の利用を図ります。
当社の業務に関する環境関連法規その他の要求事項を順守します。
廃棄物のリサイクルを推進します。
資源、エネルギーの使用量を削減し、維持管理します。
効率的に業務を実施し、継続的な事業展開を推進します。

環境目標

1　2027年度迄に二酸化炭素排出量を2023年度対比2%削減する。
2　2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%アップする。
3　2027年度迄に業務用車両の燃費を2023年度比2%向上する。
4　2027年度迄に電力使用量について2023年度比2%削減する。
5　作業効率について2016年度比10%アップを維持する。
6　車両の修繕費について2012年度比20%削減を維持する。
7　202７年度までに持込客数を2017年度比１５%アップする。



制定：２０２４年　８月１７日
改訂：２０２５年　５月２５日
足利市清掃事業株式会社
代表取締役　今泉　和也

環境経営目標（中長期及び単年度目標）

項目	中長期目標	達成期限	責任者	2023年度目標	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標
二酸化炭素の排出量削減	1．二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減	2028/3/31	総務部長	実績把握	0．5%削減	1%削減	1．5%削減	2%削減
	2023年度実績：666，529kg				663,196 kg以下	659,864 kg以下	656,531 kg以下	653,198 kg以下
	2．電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減	2028/3/31	総務部長	~~25%低減~~	~~25．5%低減~~	1%低減	1．5%低減	2%低減
	2023年度実績：91,312kwh			~~120,500~~ kwh以下	~~119,764~~ kwh以下	90,399 kwh以下	89,942 kwh以下	89,486 kwh以下
	3．業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる	2028/3/31	各班長	~~10%低減~~	~~10．5%低減~~	1%向上	1．5%向上	2%向上
	2023年度実績：4.34km/L					4.38 km/L以上	4.41 km/L以上	4.43 km/L以上
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 2017年度同程度を維持する 2017年度実績：53，558kwh	2028/3/31	管理係	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電	50,000kwh 以上発電
廃棄物排出量の削減	1．廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する	2028/3/31	中間処理班長	52%以上	54%以上	56%以上	58%以上	60%以上
	2022年度実績：50%							
	2．事業系一般廃棄物の削減 2024年度の排出量を基準として 2027年度までに10%削減する	2028/3/31	総務部長	*****	実績把握	3%削減	7%削減	10%削減
	2024年度実績：1092kg					1059 kg以下	1016 kg以下	983 kg以下
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する	2028/3/31	委託可燃班長	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持	40%削減を維持
	2019年度実績：6,601L			4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下	4,000 L以下
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	1．収集運搬作業の効率アップ （委託、定期） 2027年度まで作業人工2016年度対比10%削減を維持する	2028/3/31	事業部長	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持	10%削減を維持
	2016年度実績：9355.4人工			8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下	8,419.9 人工以下
	2．車輌の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	2028/3/31	車両管理者	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持	20%削減を維持
	2012年度実績：22,092,726円			17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下	17,674,181 円以下
提供するサービスの改善	1．持込客の利便性向上 （中間処理施設の維持と改善含む） 持込客数を 2027年度までに2017年度対比 15%UPする	2028/3/31	総務部長	11%UP	12%UP	13%UP	14%UP	15%UP
	2017年度実績：14，227件			15,792 件以上	15,934 件以上	16,077 件以上	16,219 件以上	16,361 件以上

二酸化炭素排出量（電力）排出係数　　日本テクノ株式会社：0.465kg-co2/kwh　　東京電力：0.398kg-co2/kwh

※化学物質については、自社制作コンテナの塗装用として塗料1斗缶1缶、シンナー1斗缶2缶、硬化剤4L缶1缶程度を保管し、1年間で使用しない時もあり、使用した場合でも微量である為、環境経営目標の策定は行わず、適性に管理している事を6ヵ月に1度定期的に確認します。

環境経営計画
2025年度 （運用期間:2025年4月～2026年3月）

項目	目標	達成期限	責任者	活動項目
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度 1.0%削減	2026/3/31	総務部長	2から3の活動を実施する
	2. 電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度 1%削減	2026/3/31	総務部長	1. ムダな電力使用の低減継続実施 (1)消灯の徹底(毎日) (2)空調温度設定(夏26～28℃ 冬20～22℃) (3)空調フィルター清掃 6月9月12月3月 (4)省エネタイプへの変更・検討・実施
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2025年度 1%向上	2026/3/31	事業部長	1. 燃費の改善 省エネ運転の継続実施(トライエス活動の継続実施) 2. 低燃費車両の導入検討
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年 以上発電	2026/3/31	管理係	1. 維持管理 毎月の発電量をチェックして異常を察知する 2. 故障の速やかな修理を実施
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する 2025年度 56%以上	2026/3/31	中間処理班長	1. 分別作業方法の改善 2. リサイクル方法の見直し 3. リサイクル品の物量確保
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2025年度 目標設定	****	総務部長	1. ミックスペーパーの分別徹底 2. 機密書類のシュレッダー活用促進 3. コピー用紙の両面利用
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4，000 L 以下	2026/3/31	委託可燃班長	維持管理 1. ホースノズルの故障チェック 2. ホースの穴開きチェック交換
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度対比10%削減を維持する	2026/3/31	事業部長	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する 2. 定期収集ワンマン化を推進する 3. 収集ルートの改善
	2. 車輌の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	2026/3/31	車両管理者	1. 不具合車両の早期発見(チェックする) 2. 故障車両の早期修理 3. エンジンオイル変更等による改善実施
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を2017年度対比 2025年度 13%UPする	2026/3/31	総務部長	1. 荷受け業務の受入方法改善

活動内容

1．燃費の改善、省エネ運転の実施（トライエス活動）・走行管理表で燃費を管理しています。

2．ムダな電力使用の低減継続実施

・空調温度設定（夏２８℃）・ウィークリータイマーで運転時間を管理

3．地下水使用量の削減

・ホースノズルの故障チェック

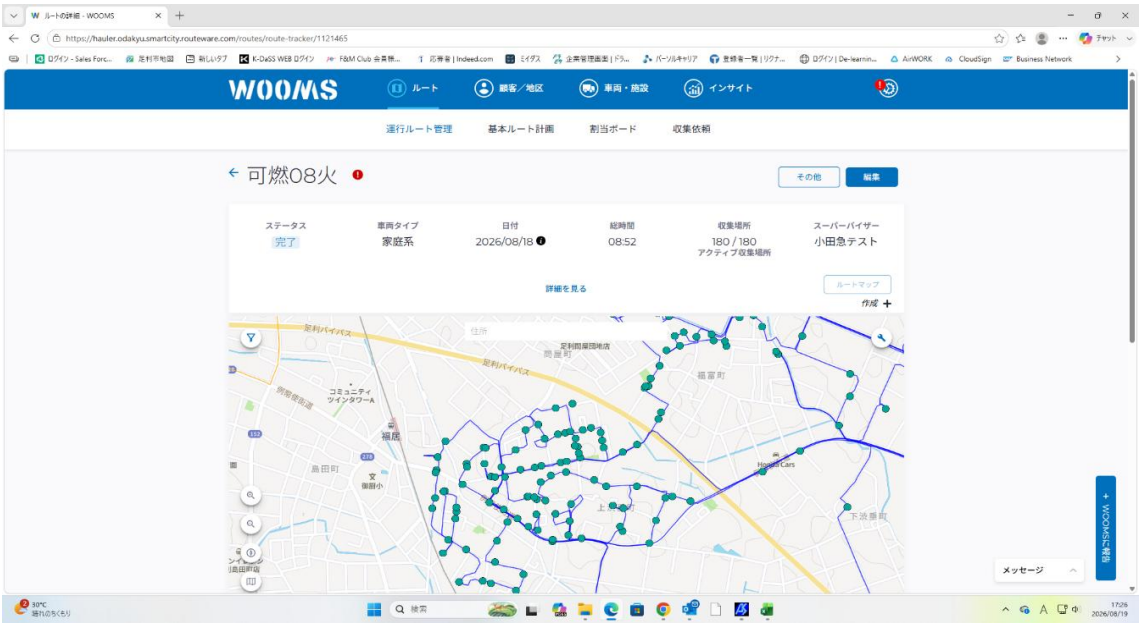
・高圧ホースの穴開きチェック

4.自動洗車機（シャワーホッパー）を導入して、節水対策
（同時に地下水の汲み上げポンプを節電）

※2025年９月2機目を設置して、全パッカー車を機械洗車としました。

5．電力の見える化によって、節電を継続しました。

6．収集管理アプリWOOMS（ウームス）を導入して、無駄な動きが無いように
運行を管理しました。
監督者が、各車両の動きを見て、帰庫の指示を出したり出来ます。
ごみステーションの取り残しによるクレームも防げます。



環境経営計画の実績（運用期間：2025年4月～2026年3月）

項目	中長期目標	達成期限	責任者	2025年度目標	2025年度実績	評価	未達成の場合の対策等
二酸化炭素の排出量削減	1．二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2023年度実績：666，529kg	2028/3/31	総務部長	1．0%削減 659,864 kg	1.00%削減 657,802 kg	達成	
	2．電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度　1%削減 2023年度実績：91,312kwh	2028/3/31	総務部長	1．0%低減 90,399 kwh以下	1.48%低減 89,059 Kwh	達成	
	3．業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2023年度実績：4.34km/L	2028/3/31	事業部長	1．0%向上 4.38 km/L以上	3.06%向上 4.52 km/L	達成	
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 2017年度同程度を維持する 2017年度実績：53，558kwh	2028/3/31	管理係	50,000kwh以上発電	53,534 Kwh	達成	
廃棄物排出量の削減	1．廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する 2022年度実績：50%	2028/3/31	中間処理班長	56%以上	56.9% （0.9%向上）	達成	
	2．事業系一般廃棄物の削減 2024年度の排出量を基準として 2027年度までに10%削減する （今年度は目標3%削減する）	2028/3/31	総務部長	3%削減 （目標1059kg）	49.7%削減 （549kg）	達成	
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 2019年度実績：6,601L	2028/3/31	委託可燃班長	40%削減を維持 4,000 L以下	11.8%削減 3,527 L	達成	
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	1．収集運搬作業の効率アップ （委託、定期） 2027年度まで作業人工2016年度対比10%削減を維持する 2016年度実績：9355.4人工	2028/3/31	事業部長	10%削減を維持 8,419.9 人工以下	18.79%削減 7,597.5 人工	達成	
	2．車輌の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する 2012年度実績：22,092,726円	2028/3/31	車両管理者	20%削減を維持 17,674,181 円以下	31.8%増加 29,123,369 円	未達成	
提供するサービスの改善	1．持込客の利便性向上 （中間処理施設の維持と改善含む） 持込客数を 2027年度までに2017年度対比 15%UPする 2017年度実績：14，227件	2028/3/31	総務部長	13%UP 16,077 件以上	3.6%UP 16,512 件	達成	

二酸化炭素排出量（電力）排出係数　　日本テクノ株式会社：0.465kg-co2/kwh

※化学物質については、自社制作コンテナの塗装用として塗料1斗缶1缶、シンナー1斗缶2缶、硬化剤4L缶1缶程度を保管し、1年間で使用しない時もあり、使用した場合でも微量である為、環境経営目標の策定は行わず、適性に管理している事を6ヵ月に1度定期的に確認します。

環境経営計画の取組結果（運用期間：2025年4月～2026年3月）

項目	目標	活動項目	取組結果	評価
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度　1.0%削減	2から3の活動を実施する		
	2. 電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2025年度　1%削減	1. ムダな電力使用の低減継続実施		
		(1)消灯の徹底（毎日）	徹底されている	○
		(2)空調温度設定（夏26～28℃　冬20～22℃）	徹底されている	○
		(3)空調フィルター清掃　6月9月12月3月	予定通り実施	○
		(4)省エネタイプへの変更・検討・実施	未実施	×
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2025年度　1%向上	1. 燃費の改善		
		(1)省エネ運転の継続実施（トライエ	毎月実施	○
		ス活動の継続実施）		
		2. ルート見直しで無駄削減	WOOMS導入	○
		3. 低燃費車両の導入検討	新車3台購入	○
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年　以上発電	1. 維持管理		
		毎月の発電量をチェックして異常を察知する	徹底されている	○
		2. 故障の速やかな修理を実施	故障なし	×
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する 2025年度　56%以上	1. 分別作業方法の改善	軟質、混合の徹底	○
		2. リサイクル方法の見直し	運搬先を変更	○
		3. リサイクル品の物量確保	少々未達成	△
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2025年度　目標設定	1. ミックスペーパーの分別徹底	徹底されている	○
		2. 機密書類のシュレッダー活用促進	一部実施されている	△
		3. コピー用紙の両面利用	徹底されている	○
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4，000　L　以下	維持管理		
		1. ホースノズルの故障チェック	徹底されている	○
		2. ホースの穴開きチェック交換	徹底されている	○
		3. 自動洗浄機の活用	徹底されている	○
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度対比10%削減を維持する	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する	徹底されている	○
		2. 定期収集ﾜﾝﾏﾝ化を推進する	未実施	×
		3. 収集ルートの改善	WOOMSの活用	○
	2. 車輌の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する	1. 不具合車両の早期発見（チェックする）	チェック実施	○
		2. 故障車両の早期修理	実施	○
		3. エンジンオイル変更等による改善実施	順次変更中	△
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 （中間処理施設の維持と改善含む） 持込客数を2017年度対比 2025年度　13%UPする	1. 荷受け業務の受入方法改善	受入事務所改装	○

環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

※関係機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟は過去5年間ありませんでした。(確認日:2026/04/20)

法令、条例等	監視、測定、分析、評価基準		順守評価
	許可・届出・報告・評価事項	法令条項及び法令基準値・自社基準	
廃棄物処理法	一般廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第7条第1項、2項→施行令、第4条の5	○
	一般廃棄物処分業の許可申請	法、第7条第1項、2項→施行令、第4条の5	○
	産業廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第14条第1項、第2項→施行令、第6条の9	○
	産業廃棄物処分業の許可申請	法、第14条第6項、第7項→施行令、第6条の11	○
	特別管理産業廃棄物収集・運搬業の許可申請	法、第14条の4	○
	一般廃棄物、実績報告書提出	法、第18条→市町長からの指示	○
	事前協議 千葉県(最終処分)	千葉県県外産業廃棄物の適正処理に関する指導要綱第3条	○
	特別管理産業廃棄物収集運搬業講習会	法、第14条の4 規則第10条の12	○
	産業廃棄物処分業講習会	法、第14条 規則第10条の4	○
	産業廃棄物、実績報告書提出		○
	優良産廃処理業者認定制度情報開示の更新		○
	産業廃棄物管理票交付状況等報告書		○
	産業廃棄物の保管施設管理状況の確認	廃棄物の処理法律施行令 第三章 第六条 ロ(3)	○
	積替保管施設定期報告	栃木県廃棄物処理に関する指導要綱第32条第3-13	○
	処理困難時における委託者への通知		○
	再生材、ストック量および生産予定量の報告		○
	再生砕石の材料試験成績表の提出		○
(自社廃棄物分)	一般廃棄物収集・運搬についての帳簿	法、第7条第15項、第16項	○
	産業廃棄物収集・運搬・処分についての帳簿	法、第14条第15項	○
	産業廃棄物、委託契約書	規則、第8条の4の3	○
	産業廃棄物管理票(積替保管、中間処理後の運搬)	規則、第8条の26	○
	産業廃棄物処理の設備点検、検査	規則、第12条の6	○
	一般廃棄物を自らの責任で適正に処理	法、第3条	○
	産業廃棄物を自ら処理するか業者に委託する	法、第3条	○
	産業廃棄物を適正に保管	法、第3条	○
	産業廃棄物を委託する場合は委託契約書を締結する	法、第12条	○
	産業廃棄物を委託する場合はマニフェストを交付する	法、第12条の3	○
	産業廃棄物マニフェスト交付等状況報告書を提出する	法、第12条の3の7項	○
栃木県条例	地下水採取量報告	栃木県生活環境の保全に関する条例(指定掲揚施設)	○
ダイオキシン法	.測定(排出ガス、ばいじん・焼却灰)	法、第28条	○
	測定結果報告		○
	事故発生時の報告	法、第23条	○
騒音規制法	事務所西側境界角他3か所	法令基準値:65db以下 自社基準値:65db以下	○
振動規制法	事務所西側境界角他3か所	法令基準値:65db以下 自社基準値:65db以下	○
水質汚濁防止法	水素イオン濃度(水素指数)	6.5以上8.0以下	○
	生物化学的酸素要求量(BOD)	20mg/L以下	○
	浮遊物質量	20mg/L以下	○
	nヘキサン(動植物油類)	5mg/L以下	○
浄化槽法	保守点検	法、第10条 記録の保存:3年間	○
	清掃	同上	○
	定期検査	法、第11条 記録の保存:3年間	○
PRTR法	排出量、移動量の把握及び届出(ダイオキシン)	法、第5条→規則、第5条、第6条	○
消防法	防火管理者の選任届出	法、第8条	○
	消防用設備等点検	法 第7条の3の3	○
	地下タンク及び地下埋設配管の漏れの点検	危険物の規制に関する規則」第62条の5の2及び3、	○
	同上 在庫管理又は漏洩検知管)	日常点検 「危険物の規制に関する規則」第62条の4、他、	○
地方自治法 競争入札資格	栃木県(一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	足利市(清掃、一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	佐野市(清掃、一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	群馬県(一般・産業廃棄物処理、物品)		○
	日本赤十字病院		○
	足利市(法定外公共物使用許可(水路))		○
建築物における衛生的環境の確保に関する法律	貯水槽清掃作業監督者講習会	施行規則第28条第4号イ	該当なし
フロン排出抑制法	簡易点検(全ての業務用空調機器)	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
	廃棄時のフロンガス適正処理	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
労働安全衛生法	36協定	労働基準法 第36条	○
	安全管理者、衛生管理者、産業医の選任	労働安全衛生法第10条(施行令第2条、規則第2条)	○
	特定自主検査(月次 4月～2月、年次 3月)	月次 施工例第15条、年次 法、第45条	○
	月次は毎月自主点検	クレーン等安全規則 第77条	○

2025年度 代表者による全体の評価と見直し・指示の記録

実施日	2025 年　4 月　5 日

インプット情報（資料名）

① 前回に実施した「代表者による全体の評価と見直し・指示の記録」
② 外部及び内部の課題抽出及びマネジメントシステム計画表
③ 順守事項一覧表（ファイル一式）
④ 外部環境情報連絡処置書
⑤ 不適合報告書、是正処置指示・処置書
⑥ 環境経営計画、実績、取組結果
⑦ 組織図、車両管理一覧表
⑧ 環境経営方針

評価項目	資料名	社長による全体の評価と見直し・指示
前回の評価と見直し・指示に対する処置の状況	①	見直しの有無：☐あり　☑無し CO2削減は目標達成。車両の整備費は目標未達成で大幅に増加したので、引き続き対策して下さい。
社会情勢・取引先・法改正等の状況と動向	②	見直しの有無：☐あり　☑無し プラ分別回収に向けて、テスト収集が開始されるなど、今後に向けて準備を進めておいて下さい。
環境関連法令その他の要求事項の順守状況	③	見直しの有無：☐あり　☑無し 法令順守を継続してください。
外部からの苦情・要望・対応結果	④	見直しの有無：☐あり　☑無し 問題ありませんので、適切に対応して下さい。
是正処置、予防処置の結果	⑤	見直しの有無：☐あり　☑無し CO2削減目標が、達成出来て、是正の結果が出たようですね。
環境目標、経営計画の達成状況、環境負荷の状況	⑥	見直しの有無：☐あり　☑無し 整備費用が増えてしまいましたので、適切に対応して目標を達成してください。
環境経営システム（実施体制）の有効性及び妥当性	⑦	見直しの有無：☐あり　☑無し 良いと思います。継続して下さい。
環境経営方針の見直しについて	⑧	見直しの有無：☐あり　☑無し 引き続き、長期計画を継続して活動してください。
その他改善のための意見	なし	見直しの有無：☐あり　☑無し 洗車機の導入のように、時間短縮、環境負荷減、従業員の負荷減、イメージアップの出来る事柄を検討して下さい。

環境経営計画
2026年度 （運用期間:2026年4月～2027年3月）

項目	目標	達成期限	責任者	活動項目
二酸化炭素の排出量削減	1. 二酸化炭素排出量の削減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2026年度 1.5%削減	2027/3/31	総務部長	2から3の活動を実施する
	2. 電力使用量の低減 2027年度まで2023年度対比2%削減 2026年度 1.5%削減	2027/3/31	総務部長	1. ムダな電力使用の低減継続実施 (1)消灯の徹底(毎日) (2)空調温度設定(夏26～28℃ 冬20～22℃) (3)空調フィルター清掃 6月9月12月3月 (4)省エネタイプへの変更・検討・実施
	3. 業務用車両の燃料使用量の低減 2027年度まで2023年度対比 燃費を2%向上させる 2026年度 1.5%向上	2027/3/31	事業部長	1. 燃費の改善 省エネ運転の継続実施(トライエス活動の継続実施) 2. 低燃費車両の導入検討
	4.ソーラーパネル発電の維持管理 50,000kwh/年 以上発電	2027/3/31	管理係	1. 維持管理 毎月の発電量をチェックして異常を察知する 2. 故障の速やかな修理を実施
廃棄物排出量の削減	1. 廃プラスチックのリサイクル率向上 2027年度迄に廃プラのリサイクル率を2022年度対比10%向上する 2026年度 58%以上	2027/3/31	中間処理班長	1. 分別作業方法の改善 2. リサイクル方法の見直し 3. リサイクル品の物量確保
	2. 事業系一般廃棄物の削減 2024年度の排出量を基準として 2027年度までに10%削減する 2026年度 7%削減	2027/3/31	総務部長	1. ミックスペーパーの分別徹底 2. 機密書類のシュレッダー活用促進 3. コピー用紙の両面利用
水使用量の削減	4.地下水使用量の削減 2027年度まで2019年度対比 40%削減を維持する 使用量年間4，000 L 以下	2027/3/31	委託可燃班長	維持管理 1. ホースノズルの故障チェック 2. ホースの穴開きチェック交換
効率的に業務を実施し継続的な事業展開をする	委託、定期収集 2027年度まで作業人工2016年度対比10%削減を維持する 8419.9 人工以下	2027/3/31	事業部長	1. 監督者が状況確認して車両数を調整する 2. 定期収集ワンマン化を推進する 3. 収集ルートの改善
	2. 車輌の修繕費用削減 2027年度まで2012年度対比 20%削減を維持する 17，674，181円以下	2027/3/31	車両管理者	1. 不具合車両の早期発見(チェックする) 2. 故障車両の早期修理 3. エンジンオイル変更等による改善実施
提供するサービスの改善	1. 持込客の利便性向上 (中間処理施設の維持と改善含む) 持込客数を2017年度対比 2026年度 14%UPする 16，219 件以上	2027/3/31	総務部長	1. 荷受け業務の受入方法改善